



**Sun A. Kaken**

**第107期(平成28年3月期)  
第2四半期 決算説明会**

**株式会社 サンエー化研**

**2015年12月3日**

# 目次

## 1. 会社概要

- 基本情報
- 事業展開の概要とセグメント
- 各セグメントの概要(軽包装材料・産業資材・機能性材料)

## 2. 第107期(平成28年3月期)第2四半期決算概要

- 連結貸借対照表
- 連結損益計算書
- 営業利益の変動要因
- セグメント別の業績
- セグメント別の概況(軽包装材料・産業資材・機能性材料)

## 3. 今後の施策

- 中国子会社の設立について
- 長鼎電子材料製品の販売スキーム
- 掛川工場WEST稼働後の産業資材の生産体制

## 4. 第107期(平成28年3月期)業績見込

- 今期の業績予想(連結)
- セグメント別の施策(軽包装材料・産業資材・機能性材料)
- 設備投資額及び研究開発費等

# 目 次

---

## 1. 会社概要

- 基本情報
- 事業展開の概要とセグメント
- 各セグメントの概要（軽包装材料・産業資材・機能性材料）

# 会社概要: 基本情報

商 号  
証 券 コ ー ド  
設 立 者  
代 表 者  
事 業 所

株式会社 サンエー化研

4234 (JASDAQ スタンダード)

1942年9月 (昭和17年9月)

代表取締役社長 藤岡 宣隆

本 社 : 東京都中央区日本橋本町1-7-4

営業所 : 大阪、名古屋、静岡、台北

上海 (連結子会社: 灿櫻 (上海) 商貿有限公司)

工 場 : 静岡、袋井、掛川、奈良

野木 (連結子会社: 東邦樹脂工業(株) 本社工場)

研究所 : 静岡

21億76百万円

高付加価値プラスチックフィルム・包材の製造・販売

298億84百万円 (平成27年3月期) 150億54百万円 (平成28年3月期 2Q)

85百万円 (平成27年3月期) 6億73百万円 (平成28年3月期 2Q)

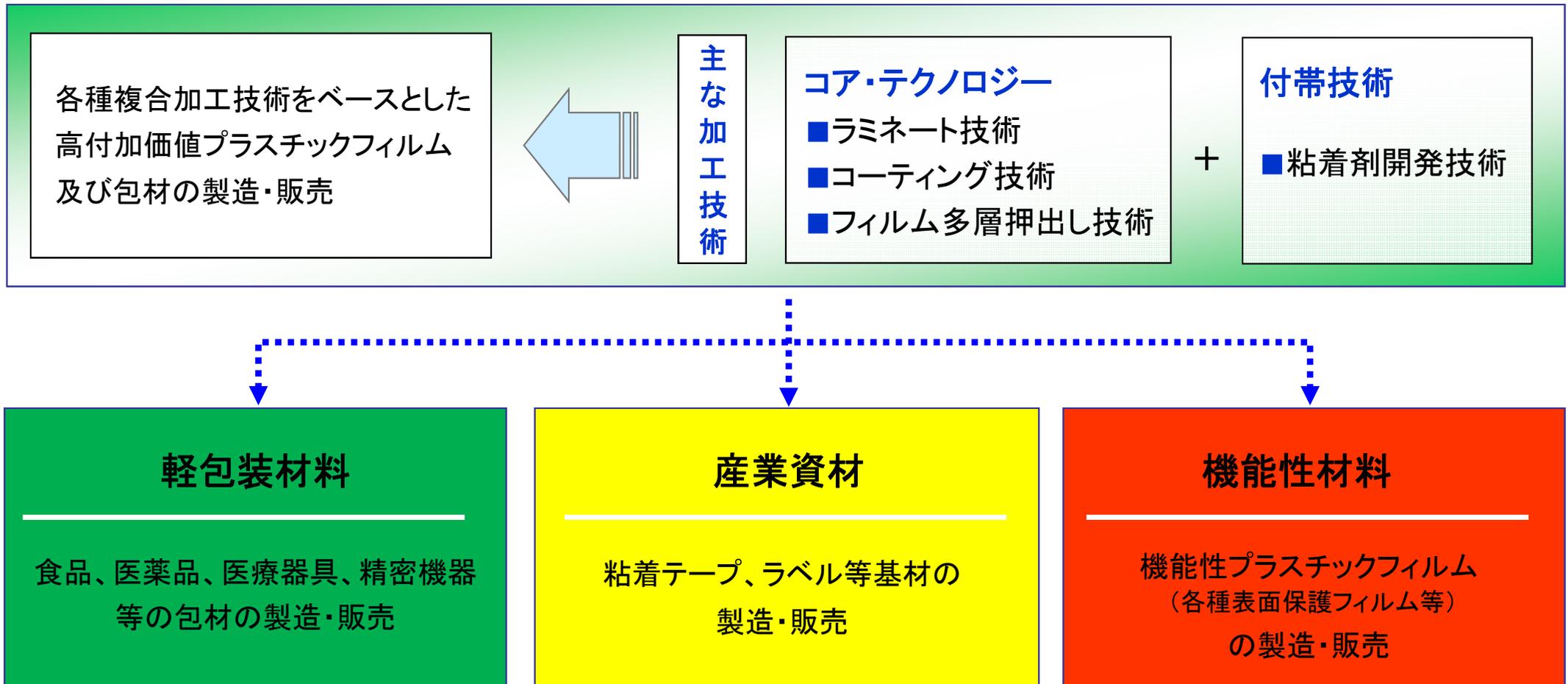
671名 (平成27年9月30日現在)

3月31日

資 本 金  
事 業 内 容  
連 結 売 上 高  
連 結 経 常 利 益  
連 結 従 業 員 数  
決 算 期

# 会社概要：事業展開の概要とセグメント

## サンエー化研の事業展開



# 会社概要: 各セグメントの概要 (軽包装材料)

## 軽包装材料セグメント

多くの独自商品を有し、連結売上高の45%以上を占める当社グループの基盤事業

食品、医薬品、医療器具、精密機器等の包材の製造・販売



### 主要顧客

- 食品加工業
- 医薬品・医療器具製造業
- 精密機器製造業
- その他製造業

### 生産拠点

静岡工場



奈良工場



東邦樹脂工業



# 会社概要: 各セグメントの概要 (軽包装材料)

## 軽包装材料セグメント (第107期第2四半期売上高 7,277百万円)



### 食品関連の包材 (売上高 3,155百万円)

#### 主要顧客層

- 食品、飲料メーカー

#### 市場環境

- 同業400-500社程度
- 汎用品は競争厳しい

#### 収益性・成長性

- 独自の食品包材で収益確保
- 国内市場は成熟、海外市場に期待

#### 課題・戦略

- 「レンジDo！」STタイプの増産と拡販
- 静岡工場でもFSSC22000取得に向け活動開始

### 医薬品・医療器具の包材 (売上高 1,532百万円)

#### 主要顧客層

- 医薬品、医療器具メーカー

#### 市場環境

- 品質要求厳しく新規参入困難
- 市場は拡大傾向

#### 収益性・成長性

- 高防湿性医薬包材の需要拡大
- 高齢化により医療分野は成長期待

#### 課題・戦略

- 高防湿性PTPシート用フィルム「テクニフィルム」の拡販

### 精密機器その他の包材 (売上高 2,589百万円)

#### 主要顧客層

- 精密、化学等各種メーカー

#### 市場環境

- 一般包材は競争厳しい
- エアー関連製品は競合品少ない

#### 収益性・成長性

- 「エアロテクト」は安定収益に貢献
- 災害時用エアーマットは潜在需要大

#### 課題・戦略

- エアー緩衝材製品の拡販
- 一般包材のコストダウン

# 会社概要: 各セグメントの概要 (産業資材)

## 産業資材セグメント

掛川工場WEST稼働により生産性向上と新分野への事業展開を図る

### 粘着テープ、ラベル等基材の製造・販売



#### 主要顧客

- テープ・ラベル製造業
- プラスチック製品製造業
- 電子部品製造業
- その他製造業

#### 生産拠点

##### 袋井工場



##### 奈良工場



##### 東邦樹脂工業



# 会社概要: 各セグメントの概要 (産業資材)

## 産業資材セグメント (第107期第2四半期売上高 3,710百万円)



### ラミネート紙

【重包装袋、クラフト粘着テープ基材】  
(売上高 917百万円)

#### 主要顧客層

- 重包装袋、テープメーカー

#### 市場規模

- 重包装袋: 約900百万m<sup>2</sup>/年 (推定)
- テープ用: 約420百万m<sup>2</sup>/年 (推定)

#### 収益性・成長性

- 市場は飽和状態
- クラフトテープは市場が縮小傾向

#### 課題・戦略

- 掛川工場WESTの早期立ち上げ
- 安定した受注数量の確保

### ラミネート布・布粘着テープ

【梱包テープ基材、養生テープ基材】  
(売上高 1,115百万円)

#### 主要顧客層

- テープ、シートメーカー

#### 市場規模

- 約200百万m<sup>2</sup>/年 (推定)

#### 収益性・成長性

- 海外品流入による低価格化が進行
- 国内競合メーカー少なく、シェア安定

#### 課題・戦略

- 掛川工場WESTの早期立ち上げ
- 安定した受注数量の確保

### 剥離紙

【両面粘着テープ、タックラベル】  
(売上高 1,676百万円)

#### 主要顧客層

- テープメーカー、電子・化学・自動車関連メーカー

#### 市場規模

- 約2,700百万m<sup>2</sup>/年 (推定)

#### 収益性・成長性

- 一般用途は収益性低下
- 電材用工程紙は市場拡大見込

#### 課題・戦略

- 電材用工程紙の新規顧客開拓
- 炭素繊維関連部材の販売立ち上げ

# 会社概要：各セグメントの概要（機能性材料）

## 機能性材料セグメント

業界で唯一3タイプの表面保護フィルムを製造し、豊富な商品ラインアップを有する

機能性プラスチックフィルム（各種表面保護フィルム等）の製造・販売



### 主要顧客

- FPD関連メーカー
- 電気製品メーカー
- 住設機器・建材メーカー
- その他製造業

### 生産拠点

#### 掛川工場



#### 袋井工場



#### 奈良工場



# 会社概要: 各セグメントの概要 (機能性材料)

## 機能性材料セグメント (第107期第2四半期売上高 3,830百万円)



**SUNYTECT (ポリオレフィンタイプ)**  
(売上高 1,046百万円)

**PAC (2層タイプ)**  
(売上高 846百万円)

**SAT (PETタイプ)・粘着加工品**  
(売上高 1,937百万円)

主要顧客層

- LCD、タッチパネル関連部材メーカー、自動車関連メーカー、建材メーカー

市場規模(光学用途)

- 約300百万m<sup>2</sup>/年(推定)

収益性・成長性

- タッチパネル市場は今後も成長が期待
- 円安により韓国品との競争は優位に

課題・戦略

- サニテクトNSの新タイプ開発・拡販
- 低コスト品の開発

主要顧客層

- LCD、タッチパネル関連部材メーカー、樹脂板メーカー

市場規模(光学用途)

- 約900百万m<sup>2</sup>/年(推定)

収益性・成長性

- LCD関連は需要があるが競争激しい
- 液晶テレビの導光板用は需要減少

課題・戦略

- PAC強粘着タイプ、低フィッシュアイタイプの拡販

主要顧客層

- LCD、タッチパネル関連部材メーカー

市場規模(光学用途)

- 約450百万m<sup>2</sup>/年(推定)

収益性・成長性

- タッチパネル市場は今後も成長が期待
- 高機能ディスプレイ対応品の需要増加

課題・戦略

- タッチパネル部材の進化への対応
- 偏光板用途の低コスト品開発

# 目 次

## 2. 第107期(平成28年3月期)第2四半期決算概要

- 連結貸借対照表
- 連結損益計算書
- 営業利益の変動要因
- セグメント別の業績
- セグメント別の概況(軽包装材料・産業資材・機能性材料)

# 第107期第2四半期決算概要：連結貸借対照表（資産の部）

（単位：百万円）

科 目	H26年3月期末 （第105期）	H27年3月期末 （第106期末）	H28年3月期 （第107期） 第2四半期末	対前期 増減額	対前期 増減率
流動資産	20,815	19,315	19,671	356	1.8%
現金預金	6,107	5,440	5,656	216	4.0%
売上債権	10,932	10,355	10,733	378	3.7%
棚卸資産	3,531	3,133	3,056	▲77	▲2.5%
その他	244	385	224	▲161	▲41.8%
固定資産	9,333	10,693	11,681	988	9.2%
有形固定資産	5,722	5,376	5,783	407	7.6%
無形固定資産	22	17	16	▲1	▲5.9%
投資その他の資産	3,588	5,299	5,881	582	11.0%
資産合計	30,148	30,008	31,353	1,345	4.5%

# 第107期第2四半期決算概要：連結貸借対照表（負債・純資産の部）

（単位：百万円）

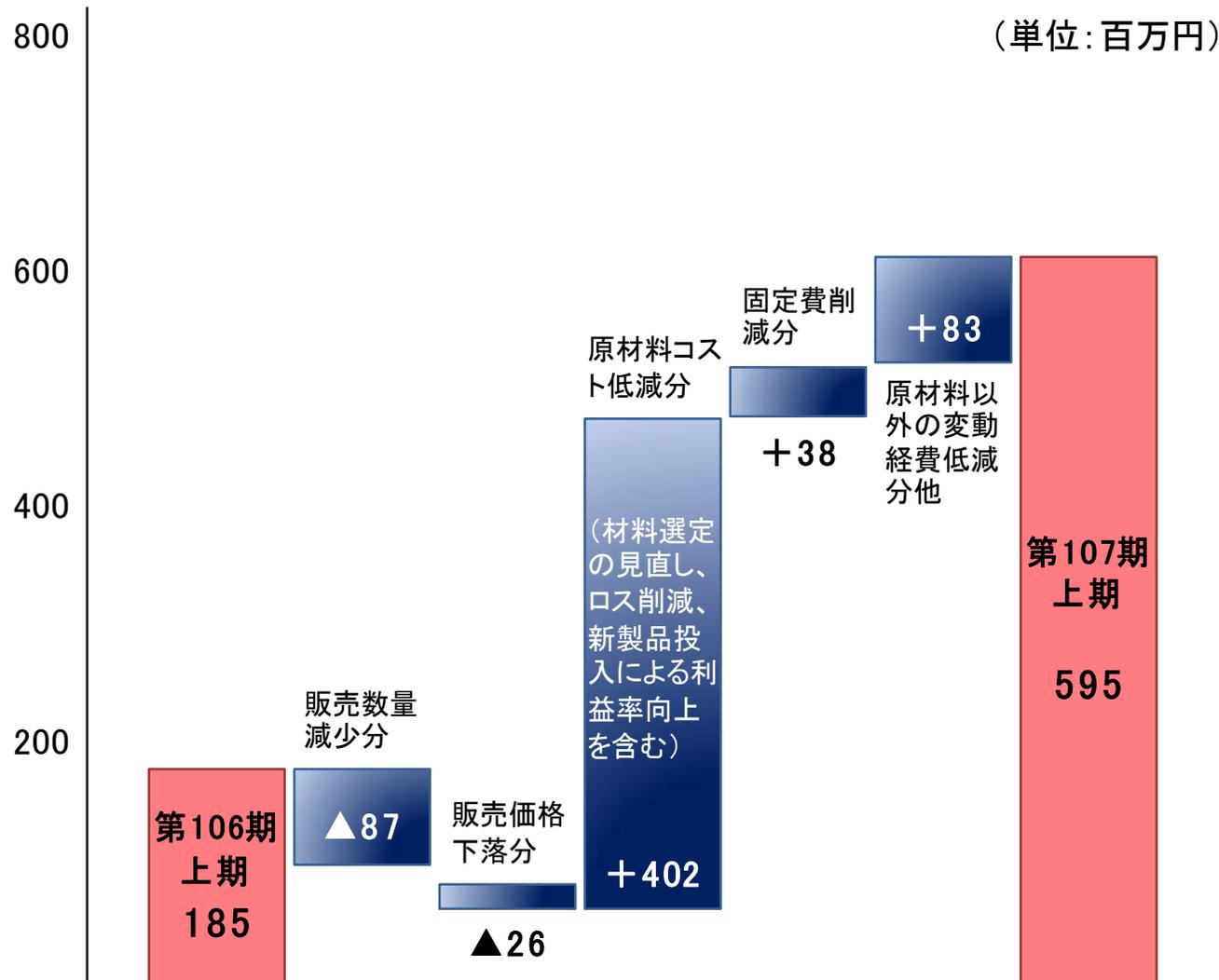
科 目	H26年3月期末 （第105期）	H27年3月期末 （第106期末）	H28年3月期 （第107期） 第2四半期末	対前期 増減額	対前期 増減率
流動負債	12,467	11,475	12,026	551	4.8%
仕入債務	6,808	6,208	6,437	229	3.7%
短期借入金	3,310	3,250	3,230	▲20	▲0.6%
その他	2,349	2,017	2,358	341	16.9%
固定負債	1,986	2,041	2,035	▲6	▲0.3%
長期借入金	639	450	310	▲140	▲31.1%
その他	1,346	1,591	1,725	134	8.4%
負債合計	14,454	13,517	14,061	544	4.0%
純資産	15,694	16,491	17,291	800	4.9%
負債及び純資産合計	30,148	30,008	31,353	1,345	4.5%

# 第107期第2四半期決算概要：連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	H26年3月期 (第105期) 第2四半期	H27年3月期 (第106期) 第2四半期	H28年3月期 (第107期) 第2四半期	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	17,075	15,418	15,054	▲364	▲2.4%
売上原価	14,685	13,780	13,004	▲776	▲5.6%
売上総利益	2,390	1,638	2,049	411	25.1%
販管費	1,534	1,453	1,454	1	0.1%
営業利益	856	185	595	410	221.6%
営業外収益	155	95	114	19	20.0%
営業外費用	121	31	36	5	16.1%
経常利益	889	249	673	424	170.3%
特別利益	0	0	0	0	—
特別損失	64	0	0	0	—
税引前四半期純利益	825	249	673	424	170.3%
税金費用他	295	68	210	142	208.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	530	181	463	282	155.8%

# 第107期第2四半期決算概要：営業利益の変動要因



第107期第2四半期は、機能性材料の販売不振により大幅減収となったが、原油安に伴う材料価格の下落に加え、材料選定の見直しや製造ロス削減、新製品投入による利益率向上などの効果によって、製品に占める原材料コストの割合が低下し、4億2百万円の増益要因となった。

また、原油安に伴う電力・燃料費の削減など材料費以外の変動費も減少、さらに新工場建設以外の設備投資の抑制によって減価償却費など固定費も減少したことから前年同期比で4億1千万円の増益となった。

# 第107期第2四半期決算概要：セグメント別の業績

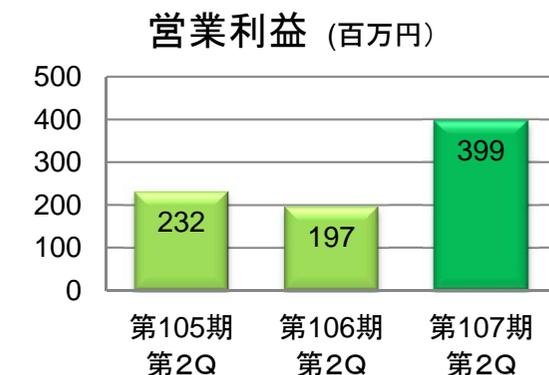
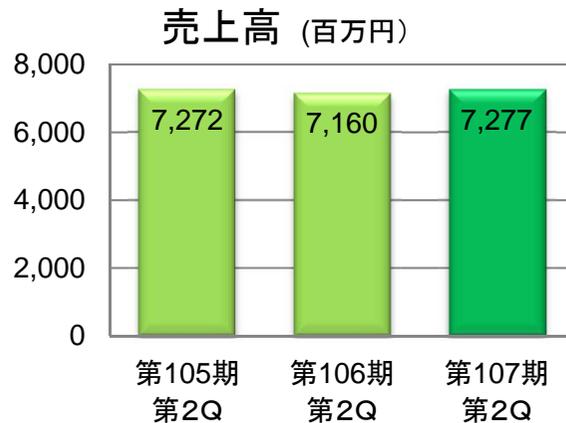
(単位：百万円)

科目／セグメント	H26年3月期 (第105期) 第2四半期	H27年3月期 (第106期) 第2四半期	H28年3月期 (第107期) 第2四半期	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	17,075	15,418	15,054	▲364	▲2.4%
軽包装材料	7,272	7,160	7,277	117	1.6%
産業資材	3,976	3,748	3,710	▲38	▲1.0%
機能性材料	5,613	4,307	3,830	▲477	▲11.1%
その他	213	202	235	33	16.3%
営業利益	856	185	595	410	221.6%
軽包装材料	232	197	399	202	102.5%
産業資材	2	▲23	109	132	—
機能性材料	593	▲4	52	56	—
その他	27	16	33	17	106.3%

# 第107期第2四半期決算概要：セグメント別の概況（軽包装材料）

## 軽包装材料

- 売上高： 7,277 百万円（前年同期比 1.6% 増）
- 営業利益： 399 百万円（前年同期比 102.5% 増）

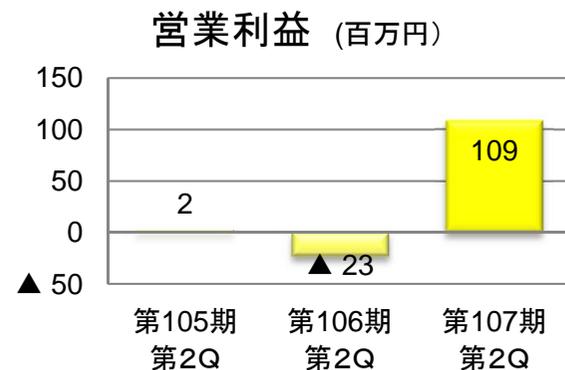
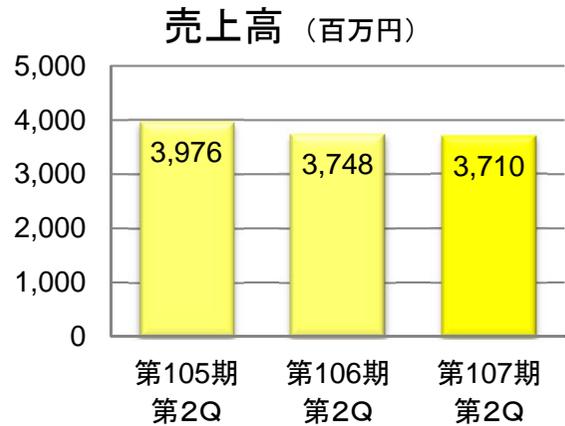


- 電子レンジ対応食品包材「レンジD○！」及びイージーカットフィルム「ポロソ」がともに好調。
- 清涼飲料用パウチは、消費者の嗜好の傾向がスポーツ飲料から炭酸系飲料に変化したことで、受注が減少。
- 医薬・医療用包材は、高防湿PTPシート用フィルム「テクニフィルム」の拡販が進むも、その他の商品の競争激化により、全体として減収。
- エアー緩衝材は、主力の「エアロテクト」の客先在庫調整が一巡したことにより受注が回復し、増収。
- 原油安による原材料費、電力・燃料費低減で大幅増益。

# 第107期第2四半期決算概要：セグメント別の概況（産業資材）

## 産業資材

- 売上高： 3,710 百万円 （前年同期比 1.0% 減）
- 営業利益： 109 百万円 （前年同期比 132百万円 増）

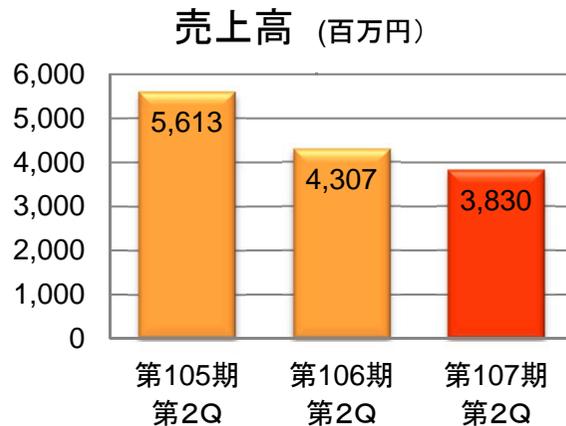


- テープ用基材については、海外製のPPテープに市場を一部侵食されながらも、建設・物流関係が景気回復傾向にあることから、僅かに増収。
- 剥離紙については、自動車部品用、電子部品固定用、建材用の用途で前期並みの売上を維持。一方、スマートフォン等に使用される電材用工程紙は、韓国ユーザーからの受注が未だ回復途上にあり、剥離紙全体では僅かに減収。
- 原油安の継続によって原材料費や電力・燃料費が低減し、大幅増益。

# 第107期第2四半期決算概要：セグメント別の概況（機能性材料）

## 機能性材料

- 売上高： 3,830 百万円（前年同期比 11.1% 減）
- 営業利益： 52 百万円（前年同期比 56百万円 増）



- 「サニテクト」については、光学分野での苦戦が続くが、剥離フィルムのないPET基材の「NSタイプ」の改良で受注がやや回復し、僅かに増収。
- 「PAC」については、同業他社との競争が激化する中で、ユーザーの品質要求に応えながら主要ユーザーに対する販売数量を伸ばし、増収。
- 「SAT」については、タッチパネル部材メーカーからの受注回復と中国市場の開拓がともに遅れ、大幅減収。
- 原油安の継続によって原材料費や電力・燃料費が低減し、増益。

# 目 次

---

## 3. 今後の施策

- 中国子会社の設立について
- 長鼎電子材料製品の販売スキーム
- 掛川工場WEST稼働後の産業資材の生産体制

# 今後の施策：中国子会社の設立について

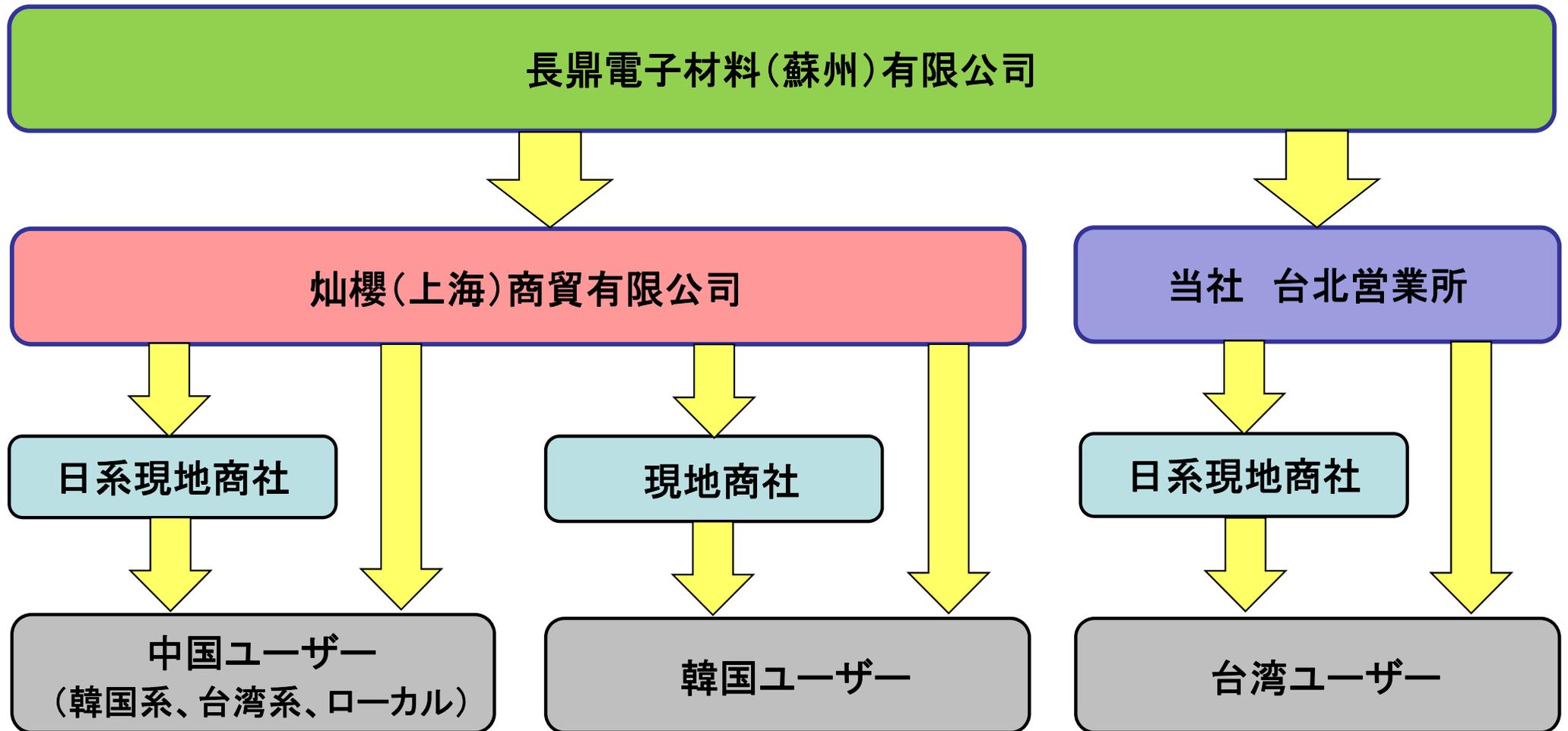
## ■ 会社概要

商号	灿櫻(上海)商貿有限公司
所在地	中国上海市
代表者	董事長：有馬啓介(当社社員)
事業内容	当社グループ製品の中国及びその周辺国への販売
登録資本金	11百万人民元
設立年月日	2015年12月1日
出資比率	当社 100%

## ■ 設立の狙い

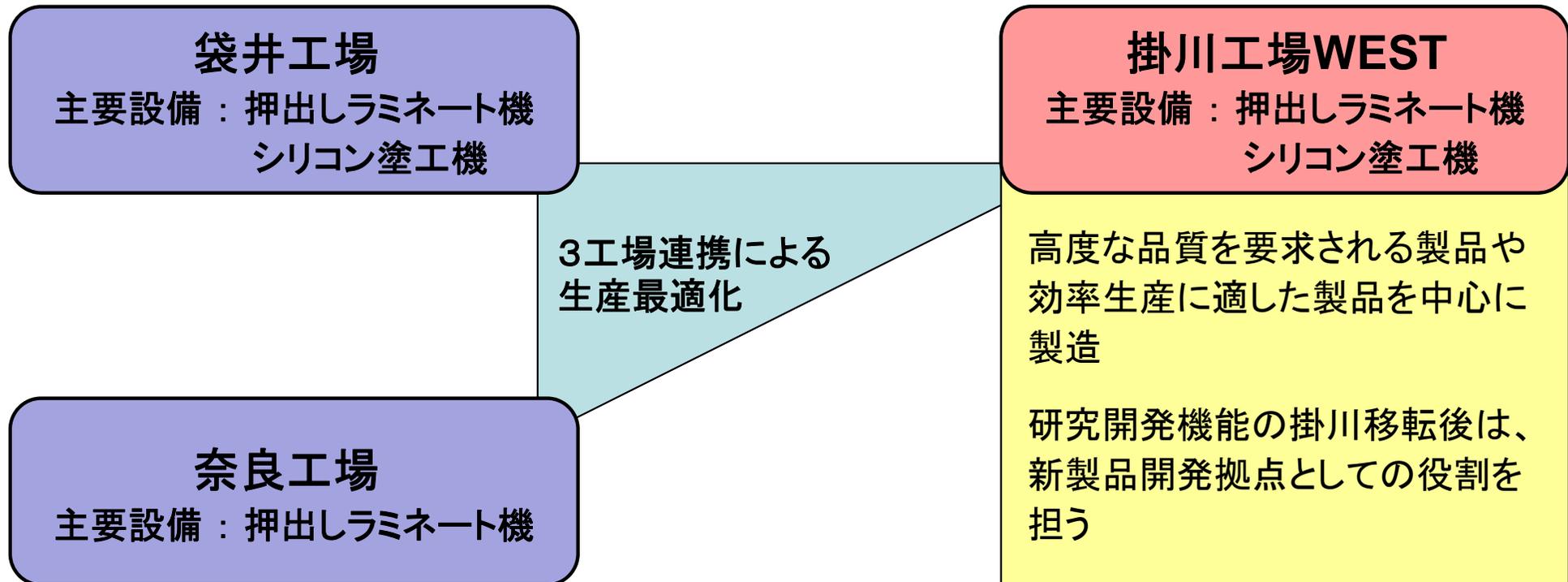
- 一昨年12月に中国蘇州市に設立した光学用表面保護フィルムの製造会社：長鼎電子材料(蘇州)有限公司の本格稼働を来春に控え、中国及びその周辺国への販売体制を強化する。
- 中国における液晶パネル増産のための投資拡大に伴い、将来増加することが見込まれる表面保護フィルムの需要を取り込む。

# 今後の施策：長鼎電子材料製品の販売スキーム



※ いずれの商流も、ユーザー層は、偏光板メーカー、液晶パネルメーカーを中心とする。

# 今後の施策：掛川工場WEST稼働後の産業資材の生産体制



今後は、掛川工場WESTを主軸とする生産体制を敷き、生産品目の特性に合わせ、  
3工場で生産の最適化を図る

# 目 次

## 4. 第107期(平成28年3月期)業績見込

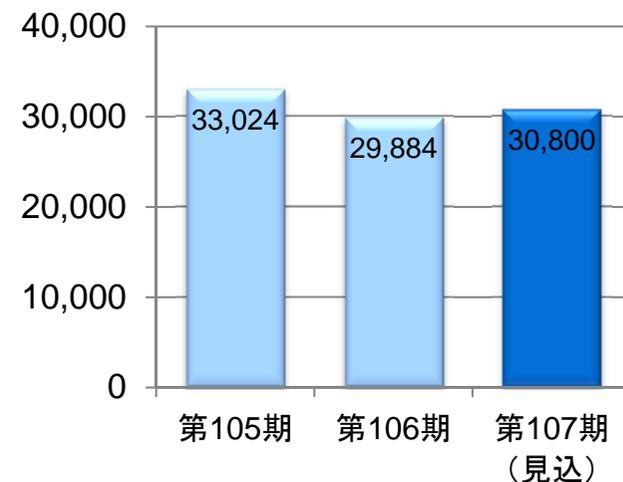
- 今期の業績予想(連結)
- セグメント別の施策(軽包装材料・産業資材・機能性材料)
- 設備投資額及び研究開発費等

# 第107期業績見込：今期の業績予想（連結）

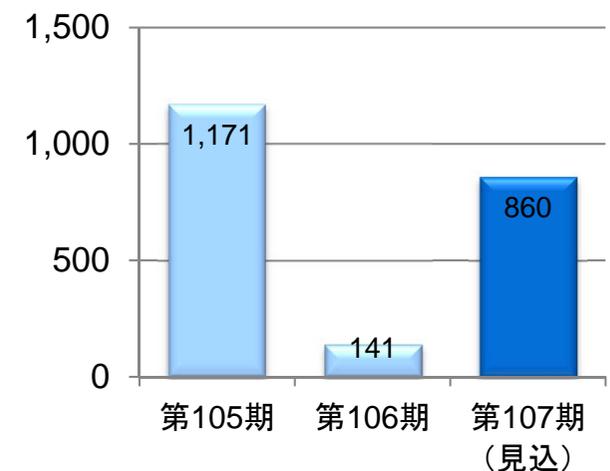
（単位：百万円）

科目／セグメント	H26年3月期 （第105期）	H27年3月期 （第106期）	H28年3月期 （第107期） （見込）	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	33,024	29,884	30,800	916	3.1%
軽包装材料	14,409	13,987	14,400	413	3.0%
産業資材	8,112	7,708	7,900	192	2.5%
機能性材料	10,076	7,809	8,100	291	3.7%
その他	426	378	400	22	5.8%
営業利益	1,171	141	860	719	509.9%
経常利益	1,263	85	1,000	915	1,076.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	832	51	670	619	1,213.7%

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



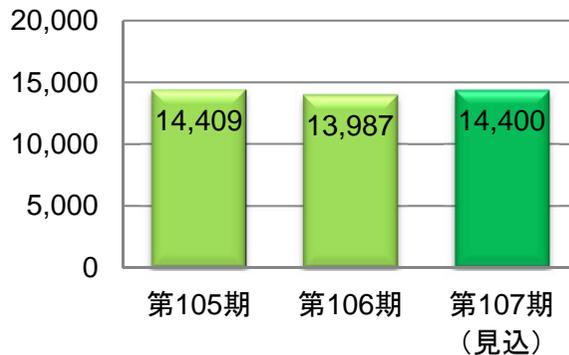
# 今後の施策：セグメント別の施策（軽包装材料）

## 軽包装材料

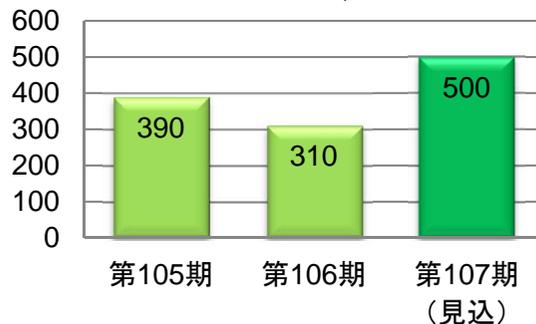
### 【第107期見込額】

- 売上高：14,400 百万円（前期比 3.0% 増）
- 営業利益：500 百万円（前期比 61.3% 増）

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



- ディスプレイ効果の高い「レンジD<sup>o</sup>！ STタイプ」を本格的に市場投入し、コンビニ、スーパーのPB商品への採用に向け注力する。
- 香料、溶剤、強アルカリなどの内容物に耐性のある包材を開発し、ケミカル分野の市場を開拓する。
- エアー関連製品の用途開発の推進及び拡販を図る。
- 奈良工場に次いで静岡工場においてもFSSC22000を取得し、同業他社との差別化を図る。

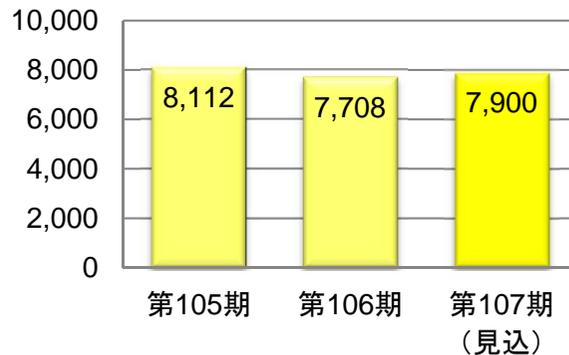
# 今後の施策：セグメント別の施策（産業資材）

## 産業資材

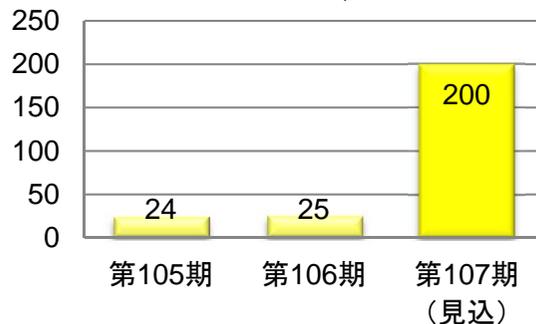
### 【第107期見込額】

- 売上高： 7,900 百万円 （前期比 2.5% 増）
- 営業利益： 200 百万円 （前期比 700.0% 増）

売上高（百万円）



営業利益（百万円）



- 掛川工場WESTの円滑な立ち上げに向けて、既存製品の拡販による数量確保に加え、外部への委託加工を要していた銘柄の内製化と新規銘柄の開発を推進する。
- 新タイプの電材用工程紙、炭素繊維関連部材（プリプレグ用工程紙）の開発・拡販を推進する。
- ラミネート紙については、テープ用基材以外の分野への販路拡大を図る。

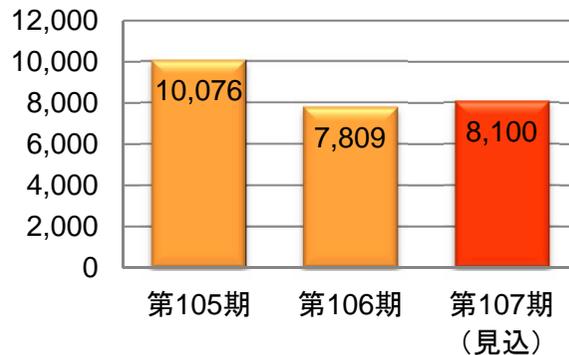
# 今後の施策：セグメント別の施策（機能性材料）

## 機能性材料

### 【第107期見込額】

- 売上高： 8,100 百万円（前期比 3.7% 増）
- 営業利益： 100 百万円（前期比 323百万円 増）

売上高（百万円）



営業利益（百万円）

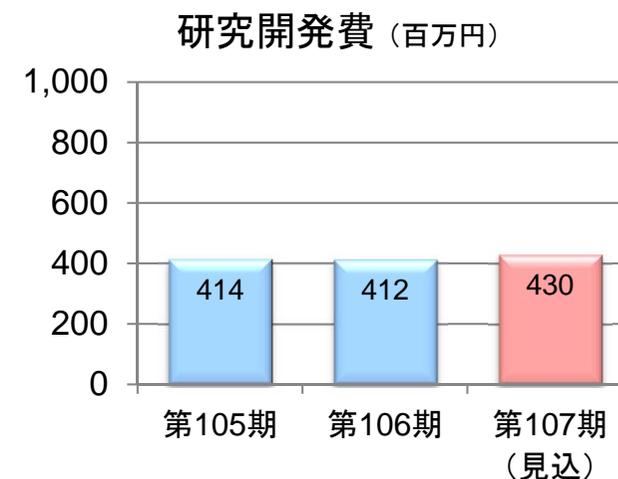
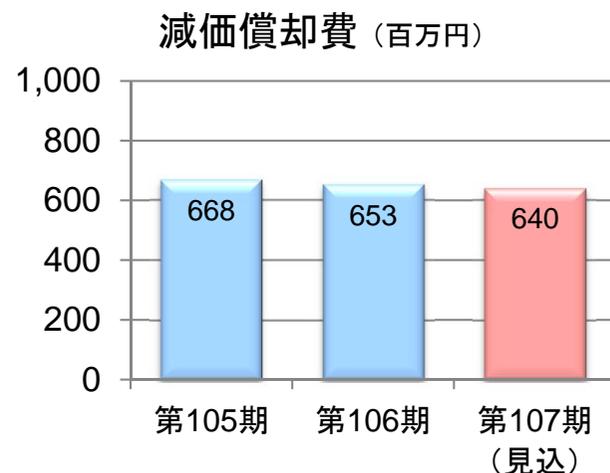
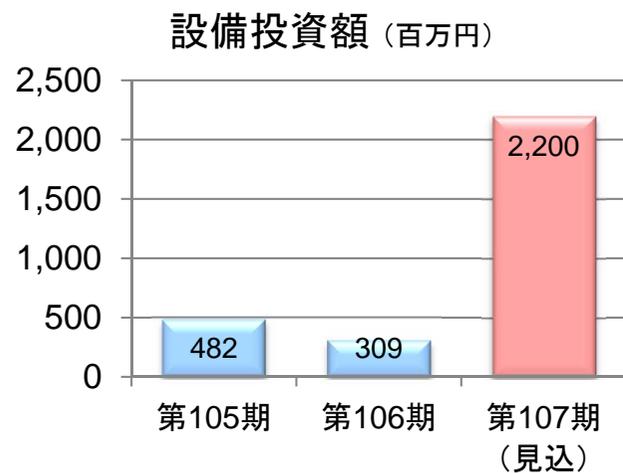


- 顧客密着型開発態勢の継続と、迅速な技術対応によって、開発案件の早期製品化を実現する。
- 中国ユーザーを中心に需要拡大が期待でき、一定の数量が見込める液晶テレビ用への製品展開を図り、業績変動リスクを低減する。
- PAC 低フィッシュアイタイプの市場展開を加速し、競合品に対する巻き返しを図る。
- 原材料の海外調達を推進し、価格競争力向上を図る。

# 第107期業績見込：設備投資額及び研究開発費等

(単位：百万円)

科目	H26年3月期 (第105期)	H27年3月期 (第106期)	H28年3月期 (第107期) (見込)	備考
設備投資額	482	309	2,200	掛川工場WEST建設費、製袋機他
減価償却費	668	653	640	新工場建設に伴う設備投資分は翌期検収につき償却費に含まず
研究開発費	414	412	430	試作費、試験費の増加



業績予想は、本資料の発表日現在(12月3日)において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

お問い合わせ先

---

株式会社 **サンエー化研**  
経営企画室

Tel:03-3241-5702 Fax:03-3241-5719

E-mail:keiki@sun-a-kaken.co.jp